

# KSN 通信 VOL.78

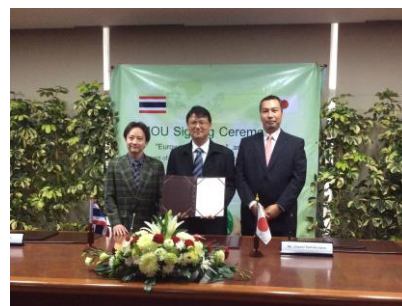
こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。  
 今年のノーベル物理学賞は、青色発光ダイオード（LED）の開発・実用化が評価されて赤崎氏、天野氏、中村氏のお三方が選ばれました。本当に喜ばしいことですね。赤・緑・青の3原色が揃ったことにより、どんな色でも合成可能になったおかげで、照明や電光掲示板など用途の幅が広がりました。発光ダイオードは米国で発明されましたが、実用化に必要な技術の開発は、すべて日本人が成し遂げたと知り、改めて日本の技術力は凄いなと感服しました。



## ■ KSNニュース

### タイ現地企業とMOUを締結しました

経済発展を遂げるタイ王国では、それと同時に、廃棄物に関する問題が起こっています。その対策にあたり、弊社はチームE 関西の一員として、不法投棄抑制、リサイクル推進、ゼロ埋立の実現および環境配慮型工業団地モデルの構築など、廃棄物に関する調査・研究活動に参加してまいりました。そして、このたび、タイ王国の廃棄物問題を解決するべく、タイ現地企業（廃棄物排出者およびリサイクル製品の利用者）とMOUを締結し、より具体的なFS（フィージビリティスタディー）を進めていくことで合意しました。今後も、国内外問わず弊社の技術が環境保全にお役立てできるよう、鋭意努力していく所存でございます。



MOU 締結の調印式の様子

## ■ 環境ニュース

### 再生可能エネルギー固定価格買い取り制度見直しへ

大手電力会社が太陽光など再生可能エネルギーの買い取り手続きを相次いで中断している問題で、経済産業省は、10月15日、総合資源エネルギー調査会新エネルギー小委員会で、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を抜本的に見直す議論を本格的にスタートさせました。

買い取り制度をめぐっては、原発事故後に政府が導入を推進した結果、民間事業者などによる発電量が急増したため、電力会社5社が「電力の安定供給に支障が出るおそれがある」などとして、相次いで受け入れの一時中断を発表し、混乱が生じています。また、一般家庭の負担も大きく増えることが予想され、事業者の全てを受け入れると、一月の負担が4倍程度に増える試算となっています。

再生可能エネルギーは、買い取り価格が高い太陽光発電に事業者の参入が集中したことから、太陽光の認定の一時停止や、電気料金に上乗せされる賦課金を抑える案などが話し合われました。同省は、電力会社が再生可能エネルギー発電設備を電力系統※に受け入れるために、現時点で十分な措置を講じているか精査し、早急に対策を検討する必要があるとして、中立的な専門家による、電力会社の接続可能量の検証や接続可能量の拡大方策等について審議を行うため、「系統ワーキンググループ」を設置し、年内には対応策をまとめる方針を発表しました。

※ 電力系統とは、電力を需要家の受電設備に供給するための、発電・変電・送電・配電を統合したシステムです。

## ■ 10月の受入量割合

※総受入量に対する一般廃棄物・産業廃棄物の割合を示す。

一般廃棄物 64.7% 産業廃棄物 35.3% (H26.10.1~30)

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004